

アセアン物流事情調査その5 「ミャンマー」が完成に近づく

フォワーディング委員会

平成18年度からフォワーディング委員会が継続してきた「アセアン物流事情調査」は第5回となった。2006年のタイ及びタイ/マレー回廊・東西回廊を巡るクロスボーダールートの調査を皮切りに行ってきた調査事業は、7カ国・5回廊を踏破し押し進められてきた。本年度は、ミャンマーを取り上げることとなったが、年度初頭には遅滞として進まない民主化の中、会員の進出も1社しか無く、軍事政権の調査に対する規制も厳しいとの事前情報で、調査が実施できるのか危ぶまれた。しかしながら、夏以降の急激な政治的变化の中、11月に実際に訪れるころには米国のクリントン国務長官が訪問するなど異様な熱気に包まれ、調査団へのミャンマー側の対応も懇切丁寧なもので、またサポートをお願いしたミャンマーフレイトフォワーダーズ協会からも全面的な支援をいただき、今回訪問した、ヤンゴン・マンガレー地区の調査はほぼ予定通り実施することができた。残念ながら当初予定した東西回廊のメーソット/ミャワディの国境地区調査は、少数民族問題により閉鎖されており、実施することができなかった。

目次は、以下の通りとなっており、3月中旬には完成予定である。また調査報告会を3月19日大阪、21日東京で、国際交流委員会のメキシコ調査報告会と同日開催で行う予定となっている。

はじめに

調査の目的

出張調査マップ

第1章 概況

1. 政治概況

- (1) 軍政から民政への転換点
- (2) 欧米の経済制裁解除、日本のODA再開の行方
- (3) 対中国、対インド、対ASEAN政策

2. 経済概況

- (1) 経済規模・経済成長率の動向
- (2) 金融・為替等の動向
- (3) 労働事情



3. 貿易概況

- (1) 輸出入金額・品目・相手国
- (2) 対日貿易の状況

4. 投資環境

- (1) 会社設立に関する情報
- (2) 外資規制および優遇措置

5. 日系企業の進出状況

6. その他参考情報

第2章 港湾事情

1. ミャンマーの港湾概況

- (1) 概要
- (2) 管理主体

2. ヤンゴン港の概況

- (1) アプローチ
- (2) 貨物取扱量
- (3) 世界のコンテナ港湾におけるヤンゴン港の位置づけ
- (4) 主要ターミナル
- (5) ヤンゴン港の特徴および課題

3. 大深水港プロジェクト

- (1) ダウェイ (Dawei) 港
- (2) チャオピュー (Kyaukpyu) 港

News Up to Date



(3) シットウェー (Sittwe) 港

第3章 輸送機関・インフラ事情

1. ミャンマーにおける貨物輸送の概況
 - (1) 輸送量および輸送機関分担率
 - (2) 主要物流都市
2. 各輸送機関の状況
 - (1) トラック輸送
 - (2) 鉄道輸送
 - (3) 内航水運
 - (4) 航空輸送
3. 貨物保険の状況
 - (1) ミャンマーの保険会社
 - (2) 輸送に関する保険の種類
 - (3) ミャンマーにおける保険の問題点
 - (4) 貨物保険加入、事故・盗難の状況
 - (5) 日本メーカーの対応状況

第4章 クロスボーダー・ルート

1. 概況
2. トラック輸送によるクロスボーダー・ルート
 - (1) ムセ
 - (2) タムー
 - (3) ミヤワディー
 - (4) タチレク (タイ国境)、
モンラー (中国国境)
 - (5) ダウエイ
3. ミャンマーとCBTA
4. 鉄道輸送によるクロスボーダー・ルート
 - (1) 中国ルート
 - (2) タイルート
 - (3) インドルート

第5章 通関制度

1. 概況
2. 輸出入事業に関する免許
 - (1) 通関業登録
 - (2) 輸出入業者登録
 - (3) ミャンマー商工会議所 (UMFCCI) への加入

3. 輸出入に関する法令・規則
 - (1) 輸出入に関する法令
 - (2) 輸出入禁制品
4. 輸出入ライセンス制度
 - (1) 輸出ライセンス
 - (2) 輸入ライセンス
 - (3) 輸出入ライセンス取得における問題点
5. 輸出入通関手続き
 - (1) 輸出通関
 - (2) 輸入通関
 - (3) 輸出入に掛かる税金
6. 特殊な通関、その他通関に関する制度
 - (1) 国内消費を目的としない物品で
そのまま再搬出する貨物
 - (2) 中古機械の輸入
 - (3) CMP企業の保税措置
 - (4) 再輸出制度
 - (5) 事前教示制度について
 - (6) 優良事業者制度について
7. 通関上のトラブル
 - (1) LCL貨物の通関遅延
 - (2) システムのトラブル
 - (3) 税関職員の対応

第6章 フォワーダー業界の現状

1. 概況
2. フォワーダーに関する免許
3. MIFFAについて